

遠壽山 正福寺

大阪市西成区千本中1-5-10

アクセス 大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅より徒歩5分

歴史 ・901年（延喜2年）菅原道真が九州太宰府に左遷の折に逗留した地に建てられた現大阪市福島区の寺院が正福寺の由来。

- ・1692年（元禄5年）法華宗寺院として中興する旨の嘆願書が大坂天満宮に提出される。自成院日達大徳が初代住職。
- ・1909年（明治42年）「大阪北の大火」により堂宇全焼。
- ・1910年（明治43年）当時の住職日誨上人（本山要法寺48祖）が西成郡勝間村（現大阪市西成区）に正福寺を移転再建。
- ・1934年（昭和9年）壇信徒の要望で納骨堂建立。



本堂



写経会の様子



納骨堂

題目山 妙傳寺

島根県出雲市塩冶町 478 番地

アクセス

出雲市駅から一畑バス「上塩冶車庫」行「天神団地入口」下車 徒歩 3 分

スサノオ観光バス「平成温泉」「江南」行「弓原」下車 徒歩 2 分

歴史

・鎌倉時代徳治元年（1306 年）に日蓮本宗の開祖玉野阿闍梨日尊上人が布教のため訪れた出雲に当山を創建。

・日尊上人の弟子日大上人（本山要法寺第五世）が本堂を建立。

・出雲地区・石見地区の法頭寺院として末寺十三カ寺，塔頭六坊を有する寺となる。

・寛永 15 年（1638 年）松平直政公が松江に入城し、各郡に法頭寺院を設置。神門郡を統轄する寺院となる。

・開山上人である日尊上人，本堂を建立された日大上人他，4 人の当山住職が（日禪上人，日陽上人，日珠上人，日濟上人）本山要法寺の貫首猊下に就任。

・現在の本堂は、弘化元年（1844 年）第二十四世日聞上人の代に再建されたものである。



妙傳寺全景



本堂正面



太鼓堂

久遠山 本経寺

京都市伏見区小栗栖小阪町 5

アクセス 京都市地下鉄東西線「醍醐」駅より徒歩 15 分

歴史 ・本山要法寺第 11 祖・堀川阿闍梨中道院日法上人により 1506 年（永正 3 年）

に久遠山本経寺として創建される。

- ・1658 年（萬治元年）本山要法寺第 22 祖・日祐上人により僧侶の教育機関・小栗栖檀林が本経寺境内に開檀される。
- ・1714 年（正徳 4 年）1 月 15 日の火災により、本経寺および檀林所化寮が焼失したが、その後再建された。
- ・1872 年（明治 5 年）学制発布により、小栗栖檀林は廃檀される。
- ・檀林の跡地に高祖日蓮大聖人第七百遠忌を記念して、現本堂、庫裡が建立され、1980 年（昭和 55 年）に落慶法要が奉修された。
- ・本能寺の変後、明智光秀が近江の坂本城へ敗走中、落武者狩りに遭って落命したとされる竹藪が本経寺裏に残る。この小栗栖の地が明智光秀の終焉の地であることにより、1998 年（平成 10 年）に建てられた供養塔が本堂左手にある。

